

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	学童ふれ愛
------	-------

公表日 令和8年4月30日

利用児童数 22名

回収数 17

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15			2		活動内容や人数に合わせて1Fホールで行事開催、プレイルーム、図書室・視聴覚教室、学習室で活動を行うように取り組んでおります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13			4		職員配置数は、法令で定められている配置基準により、児童発達支援管理責任者1名以上、児童数10人までは児童指導員等2名以上（以降5人増えるごとに1名追加）の配置にしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			1		お子様が生活しやすいように、活動・学習・イベント等、構造化した環境を整えるように取り組んでおります。また、建設時からスロープ、手すりの設置をしており、バリアフリー仕様となっております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1				お子様の来所前には、教室、トイレ等の清掃を行っております。また、中学生のテスト勉強やタブレット学習では、学習室を設けております。活動やイベントに合わせて、環境を設定を行っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16			1		受入時の様子や学校での様子を伺うことで、お子様の状態を把握し、日々の療育、支援に活かせるように取り組んでおります。また、専門書や児童発達支援センターくすのきの助言を受けながら、お子様の療育に務めております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			2		『健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性』5つの領域を網羅させた支援プログラム内容にしております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					日々のお子様の支援を通してより良い個別支援計画を作成してまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17					今後もガイドラインに基づき、お子様の療育に必要な支援内容を設定してまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					支援計画を基に職員間で共有しつつ、支援を行っております。今後も日々支援内容を振り返りながら計画に沿った支援を提供してまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1		2		お子様の興味・関心を取り入れながら、固定化しないプログラム作りを心がけてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	4		3	・ふれ愛食堂に時々行っています。	月1回（第4土曜日※行事等により日程変更になる場合がございます。）ふれ愛食堂を開催しております。地域のお子様と活動する場を設けております。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					ご利用される際にお話しさせていただいております。今後も丁寧な説明を心がけて参ります。ご不明な点がございましたら、丁寧に対応させていただきます。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					今後も丁寧な説明を心がけてまいります。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3	2	・もう少し回数があると参加しやすくなると思います。 ・仕事でなかなか参加できてませんが、すごく勉強になるので積極的にまた行きたいです。	現在のところ、ペアレント・トレーニングやご家族様が参加できる研修の機会等のご案内ができておりませんが、施設内の児童発達支援センターくすのきでペアレント・トレーニングにご参加いただいている方もいらっしゃると思います。ニーズに合わせた情報をご提供できるように努めてまいります。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	16	1		・毎回ノートに詳しく書いてくれたり、お迎えの時にその都度様子を教えてくださいます。	日々のお子様の様子は連絡帳や送迎時、お電話等で情報共有させていただいております。今後も継続して情報共有できればと思っています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	1		日頃からご家庭での悩み事や学校でのこと等、お話を伺っておりますが、行き届かない所もあるかと思えます。今後定期的な面談を行い、進路のことやご家庭でのこと、学校でのことなど相談できる場を設けて参りますので、面談以外でもご相談いただければと思います。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1				今後もお子様や保護者様に寄り添った支援を心がけてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	4	3	2	・望んでいる保護者が多ければした方が良いと思いますが、学童でそうした取り組みは最小限でいいと思います。	保護者会やきょうだい向けのイベント等は、開催しておりませんが、ニーズに応じて検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	1			お子様や保護者様からのご相談や申入れがあった際には、迅速かつ適切に対応できるように努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1				今後も様々なツールを使用して配慮しながらお子様や保護者様と情報伝達してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16			1		定期的なお便りの発行やSNS(インスタグラム)、LINEの活用して連絡体制の整備を行ってまいります。自己評価につきましては、ホームページに記載させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17					今後も個人情報保護の徹底に努めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			4		各種マニュアルの策定や訓練を行っておりますが、今後お便りだけでなく、SNS等でも発信できるよう、努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			3		様々な状況を想定した避難訓練を実施しております。今後も災害時に安全に行動ができるよう、お子様と職員の双方の防災意識に取り組んでまいります。また、各ご家庭の自宅から避難場所へのルート確認を現在行っているところです。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		1		年に1回法人内で防犯研修に参加し、お子様の安全を確保できるように避難や職員の対応の訓練に努めてまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	2				事故が起きた際には、速やかに連絡して状況や対応等を報告するよう努めてまいります。保護者様が安心してお子様を預けていただけるよう今後もより一層職員間で対応手順の確認と共有を行ってまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16			1	・毎週とても楽しみにしています。	お子様と保護者様が安心して利用できるように事業所運営を行ってまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1		1		今後も様々な活動を通してお子様が楽しく通えるようにサービス提供を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1				今後もご満足いただけるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		学童ふれ愛				公表日	2026年 4月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		学習・作業・個別活動・グループ活動・イベント等の活動内容に合わせて、スペースを分けています。また、学校の宿題でタブレット学習があり、学習室を設けるようにしています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		法令上の基準に応じて、職員配置を調整しています。子どもたちの状態・状況を踏まえた上で、対応する職員を配置するようにしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		こどもたちが学習や活動、遊びやすいように、構造化した環境に取り組んでいます。また、建設時からバリアフリー仕様となっています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日、掃除を行っています。遊びのスペース、学習スペース等活動に合わせた空間づくりを心がけています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		ボールプールはリラクゼーションルームとして活用しています。カーテンで仕切りを作っていますので、個別の部屋として使用しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		日々の業務の中での困りごとや良かった点等サービス提供時間後に振り返りを行うようにしています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者向け評価により、事業所の評価をいただいています。	事業所評価結果で、いいえ、分からない、どちらともいえないの項目にチェックがついているところは、業務改善に努めます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員間で常に子どもたちのために意見が飛び交っています。継続して、日々の療育に励んでいます。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		施設内外で研修を受けています。今後も職員の資質向上のため、自己研鑽に努めます。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムの作成、公表を行っています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		児発管が日頃から子どもたちと関わる機会を持ち、その日の様子を保護者様や職員間と共有し、ニーズに合わせた活動内容や課題等を提示した支援計画を作成しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援に関わる職員と支援会議を行い、子どもたちの課題分析を行っています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画作成のための支援案を職員間で検討し、計画書作成を行うことで、計画に沿った支援ができるように努めています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		病院や児童発達支援センターでWISC-III等を受けた際の情報を保護者様より提供していただいています。また、心理士や医師の助言等を拝見させていただき、日々利用の様子だけでなく、学校やご家庭と情報共有を行い、子どもたちの状況を把握しています。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		本人支援、家族支援に関しては、日々子どもたちの支援に必要な項目を活動内容に落とし込むように取り組んでいます。新たに農作物を育て、収穫し、調理することにも取り組んでいます。継続して行っています。	移行支援・地域支援・地域連携に関しては、地域の公共施設や公園、神社にお出かけする取り組みを長期休みに行ってはいますが、地域の方々と関わる機会が少ない状況です。法人内で行っている子ども食堂（ふれ愛食堂）にご案内します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員間で相談し、子どもたち一人ひとりの発達状況や学校行事、学校での様子を踏まえた上でチームで立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			5領域のつながりのある活動プログラムを提供するようにしています。制作、運動、ルールある遊び、生活単元に繋がる活動を提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		学習面、グループ活動、余暇活動を網羅した支援計画を作成し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		職員間で活動内容や送迎等の打ち合わせを行い、役割分担について確認した上で、日々、チームで連携し支援に取り組んでいます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		サービス提供後に職員間で日々振り返りを行い、明日の支援・業務に活かしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々子どもたちの様子を記録し、職員間でその日の出来事を振り返るようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		一人ひとり子どもたちの様子やご家庭、学校での様子を伺い、必要に応じて計画の内容を見直しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		一年間を通して、様々な活動を提供するようにしています。また、子どもたちが考えた遊びも活動に取り入れています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		余暇活動（自由遊び）の時間を設けています。好きな遊びを通して対人関係、コミュニケーションスキルを身につけられるように取り組んでいます。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		基本、児発管が参加していますが、直接支援を行う職員も会議に参加するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		同施設は、総合福祉施設として児童発達支援センターくすのきが併設しています。支援センターの専門職員保育所等訪問支援員から助言をいただき、支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校の先生方と連絡調整を行い、情報共有もさせていただいています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		同施設は、総合福祉施設として児童発達支援センターくすのきが併設していることで、情報共有ができています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		これから学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する方がいます。安心して移行できるように情報提供に努めます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		同施設は、総合福祉施設として児童発達支援センターくすのきが併設していることで、助言をいただいています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			放課後児童クラブや児童館との交流は行っていませんが、法人で子ども食堂を行っています。地域の子どもたちと活動する機会を設けているので、ご案内していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	お迎えや送迎時に保護者様とご利用の様子をお伝えするようにしています。保護者様の仕事等のご都合でお会いできない時は電話連絡を行うようにしています。		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		ペアレント・トレーニング等は行えていません。ニーズに合わせた情報をご提供できるように努めます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	3	児発管より利用開始時にご説明させていただいています。	記載している内容を簡潔に分かりやすくなるような資料を作成していきたいです。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	2	日々、子どもたちと関わる中で、子どもたちの不安感や悩みであったり、やりたいこと、将来のこと等伺うようにしています。	子どもたちの話や様子を伺いながら、日々のサービス提供を行っていますが、利用曜日を固定していることもあり、すべてを受け入れることは、難しいところもあります。サービス提供の偏りがないように検討していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	1	4	児発管が支援計画を提示しながらご説明をさせていただいています。	今後、児発管のみでなく、児童指導員等も同席し、ご説明を行っていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	3	日々、保護者様からのご相談を受けた際には、様々なご提案をお伝えするようにしています。	ごきょうだい児やご家庭でのご相談を受けることがあります。助言や支援に繋げられるように専門性スキルを身につけていきたいです。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		5		父母の会や保護者会、保護者様同士での交流する機会を設けることはできていません。保護者様のニーズに合わせて検討していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情解決対応の体制・整備を行っています。	困り感を感じた際には、苦情として真摯に受け止め、解決へと導けるように努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		新たにInstagramを開設しました。行事やイベント等の投稿を行っています。	ホームページが新しくなりました。Instagramと併用投稿できるようにしていきます。また、LINEの活用も始まりましたので、連絡体制、情報等発信していきたいと思っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約時に個人情報に関する承諾を頂き、それに基づいて学童だよりやホームページの掲載なども注意して取り扱うようにしています。	Instagramを開設していますので、新たに個人情報の取り扱い承諾書に承諾の有無を確認させていただきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		言語だけでなく、絵や写真カード等を用いて様々な方法でコミュニケーションを取るように配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		事業所単体での行事地域の方々をご参加いただけるような取り組みは行えていませんが、法人内での行っている子ども食堂（ふれ愛食堂）を展開しています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		それぞれのマニュアル作成、訓練を行っております。	訓練等を行った際の、ご家族様への発信がおりやすいので、ホームページやInstagramでの発信を行ってきたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画（BCP）を策定しています。非常災害時用の備蓄品の準備や施設全体の避難訓練を行っています。今年度は、子どもたちに水消火器の使い方を学んでいただきました。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	3	現在、てんかん発作を起こされるお子様はいらっしゃいませんが、今後利用される方へ対応が必要なお子様には、かかりつけ医師の指示のもと対応を行っていきます。また、服薬について、保護者様よりお知らせいただいています。	予防接種に関しては、確認を行っていません。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		保護者様よりアレルギー疾患に関する調査票に記入していただき、食物アレルギーのあるお子様には、アレルギー対応食の提供をさせていただきます。	

非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	防犯カメラの設置をしています。またその日の利用人数と来所時の人数確認、受け入れ時の健康チェック（検温等）、手洗いを行っています。遊具に関しては、ボールプールやトランポリンのチェックを行っています。送迎時のシートベルト着用を促しと確認を行っています。	カード類をいただき、整理整頓ができていないので、子どもたちが使いやすいように整理していきたいと思います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	安全計画に基づいて、使用する部屋の確認と、プレイルームの遊具確認、送迎時のシートベルト着用確認、食事に関する誤飲等気をつけて、ご利用中の子どもたちの安全に過ごしていただけるように取り組んでいます。	地震や津波、火災等の避難訓練の様子をお便りやInstagram、ホームページに掲載することで、取り組みの様子を知っていただけるようにしていきたいです。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	リスクマネジメント委員会を中心に事業所内で振り返りを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	身体拘束・虐待防止委員会を中心に研修や職場における虐待防止チェックリストを用いて年に3回チェックして振り返りを行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	身体拘束マニュアルはありますが、実際に身体拘束を行うことはしていません。身体拘束に関する研修を実施していますが、やむを得ず身体拘束を実施する際の3つの原則について確認するようにしています。	